



脇戸地区 福祉座談会



グループに分かれて話し合いの様子

11月2日、脇戸地区では、5年ぶりに福祉座談会を開催しました。
はじめに、『ひとちいき計画ネットワーク』の佐伯謙介氏より、南小国町の概況（高齢化率など）や、南小国町の取り組みなどの説明があり、皆さん熱心に話を聞かれました。
その後2グループに分かれて、5年間で「継続できていること」、「できなかったこと」、「これから取り組んでいきたいこと」などについて皆さんで話し合いを行いました。



発表の様子

『サロンを続けていることが出来ている』『外灯をつけた。』などこれまでの取り組みの再確認を行い、「一人暮らしの方の有事の際はどうするか」など、活発な意見が出ていました。
最後にグループごとに発表を行い、参加者全員を考えを共有することができました。
自分たちの地区をさらに良くするために、今回の座談会で出た皆さんの考えなどを参考に、脇戸内の検討チーム【**脇戸集落しんぐろウヅヘクト**】にて意見を集約し、これからの地域での取り組みに繋げていく予定です。

一人暮らし高齢者への元気宅配事業 ふれあいバスハイク

南小国町では70歳以上の一人暮らしの方が160名を超えております。社会参加の機会を提供し、地域住民とふれあうことで楽しみ・生きがいを実感していただき、安否確認や心身の状態確認、孤立化の予防、民生委員などの関係者との信頼関係を構築することなどを目的にいろいろな事業を行っております。
11月6～7日に「ふれあいバスハイク」が開催され、阿蘇神社、草千里など阿蘇の雄大な景色を見学に行きました。2日間とも、素晴らしい秋晴れの空が広がるバスハイクとなりました。
昼食の際には、『いつも1人で食べているので、皆と食事をするのが美味しい！』など、いつもとは違った昼食の時間を楽しまれました。バスの中も話が絶えず、久しぶりに会う知り合いの方たちとの会話を楽しまれました。参加者からは、『楽しかった！』『また来年もよろしくな！』などの声が聞かれ、バスハイクを満喫されたようでした。



中岳をバックに記念撮影



子育て広場き☆ら☆ら

保育所入所前の子どもを持つ母親、出産前の母親や子育てに関心のある地域住民・ボランティアの方々が集まり、同じ年頃の子どもを遊ばせたり、お母さん達同士で情報交換を行いながら、子育てに対する不安を1人で抱えないことを目的に活動を行っています。

また、平成30年度より『子育て支援広場ぬくもり』の会場も南小国町地域福祉センターりんどう荘となり、育児相談、身体測定（保健師来所時）、子どもの遊び場の提供、また様々なイベントの開催などでは、きららと合同で行うこともあります。今回は活動の様子をご紹介します。



きららでは、子どもたちに喜んでもらおうと毎年人形劇を企画しています。南小国町内3園の園児たちも来られ、ヘンゼルとグレーテルの人形劇を見て大喜びでした。



ハロウィンパーティーでは、ぬくもりの先生方が作った衣装に子どもたちは嬉しそうに着替え、記念撮影を行っていました。また、保護者同士でお話をしたり、牛乳パックでのバッグ制作などで会場は、大賑わいでした。

りんどう荘通信～あなたの笑顔が私の元気～



【焼き芋】さつま芋を新聞紙で巻く作業中。

デイサービスでは、利用者さんに1年を通して楽しんでいただこうと、様々な行事を計画しております。今回は、秋の味覚を味わっていただきたく「焼き芋」を実施しました。炭に火をつけるための焚き木は利用者さんが、慣れた手つきでノコギリを扱い、たくさんの方の焚き木を用意してくださいました。また、さつま芋を新聞紙で巻く作業もお手伝いいただきながら、「焼き芋」を実施することができました。できたての「焼き芋」はとても香ばしく、利用者さんは舌鼓を打たれていました。

中原小学校児童が、りんどう荘に來られて【交流会】を行いました。自己紹介を行ったあと利用者さんと一緒にレクリエーションなどで交流を深めました。また、児童より手作りの『タペストリー』をいただき、利用者さんからは、「良くてきちよるな〜」「とげやっ作ったつかな?」と『タペストリー』の出来に感心し驚かれています。短い時間の交流会となりましたが、利用者さんとても楽しまれました。『タペストリー』は、中原小学校がお世話になった地域の方や施設などへプレゼントされたそうです。



タペストリー



【交流会の様子】